

I ビジネスQ&A

Business Q & A

Q：貴社商品の開発の経緯について教えてください。

A：



1993年にオートリース会社様のリースアップ車専用のオークション運営を開始しました。当社に売買された中古車の売却実績データが副産物として蓄積されていきます。5年経過・18万km走行したハイエースがいくらかで売買された、といったようなデータです。

90年代後半、多くのオートリース会社様が、車の将来価値 ―いわゆる「残価」― を、人に依存した経験や勘ではなく、根拠があるロジックで把握したいと考えるようになりました。

そこで当社は、蓄積された膨大な売却実績データを重回帰分析などの統計的手法を用いて分析し残価を算出することを可能にしました。RV Doctorの原型誕生です。

2000年に商品化、特許も取得しました。2004年に外部のオークション・データ等も投入し、ビッグデータ解析に進化し、その後も度重なる改善を続け現在に至っています。



1995年にオークション運営システムを開発しました。運営のためには車検証から車種やグレードを特定できるデータベースが必要でした。

2000年代になり、オートリース会社様においてWeb上でのリース料見積もりが検討され始めました。実現するには新車の諸元だけでなく、グレード毎の選択可能オプションの組み合わせ・価格データが不可欠です。

そこで当社は、当時販売されていた新車カタログをかき集め、文字情報をデータ入力し2001年に車種DBをリリースしました。

以後、エコカー減税判定情報、安全装備情報等、時代の変化に応じデータ項目を追加しています。

20年以上進化し続けている比肩するものはないデータベースだと自負しております。

I 株主メモ

Stockholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 公 告 方 法	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店 電子公告により当社ホームページ (https://www.slc.jp/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

I 企業データ

Corporate Data

商 号	システム・ロケーション株式会社
英 文 社 名	System Location Co.,Ltd.
本 店	〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号 TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775 URL https://www.slc.jp/
創 業	1992年7月1日
上 場 取 引 所	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)
資 本 金	191,445,000円
発行済株式総数	3,570,000株
株 主 数	607名
事 業 内 容	自動車関連事業者向け業務支援
従 業 員 数	41名

役 員

【取締役】

代表取締役社長	千村 岳彦
専務取締役	前田 格
常務取締役	内村 裕一
取 締 役	井坂 俊達
取 締 役	林 雅大
取 締 役(社外)	永野 竜樹

【監査役】

常勤監査役(社外)	後藤 清文
監 査 役(社外)	鈴木 清雄
監 査 役(社外)	山中 雅雄

株主通信 第55期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様へ

Top Message

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～9月30日、以下「当期」）における当社関連市場である国内自動車市場は、引き続き半導体需給ひっ迫の影響を大きく受けながらも、前年同期に特に東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大による部品供給不足の影響を受けていた反動もあり、第1四半期に比して改善の傾向が見られました。新車販売台数（乗用車）は前年同期比8.4%減と前年割れが継続しながらも、9月単月が前年同期比24.7%増となったこともあり、第1四半期の15.9%減の状態から回復の兆しが見えてきました。しかしながら、所謂“コロナ禍”前の2019年の同期販売台数と比較した場合、新車販売台数は28.5%減の水準に留まっており、本年9月の販売台数も2019年9月の30%減の水準となります。中古車登録台数（乗用車）は同5.0%減となり、引き続き流通台数の減少及び単価上昇の激しい市場状態が続いています。

このような社会環境の中、当社グループにおいては、前期に引き続き自動車販売事業者様、自動車関連金融事業者様など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、大規模法人向けSaaS提供企業として新機能追加や新商品開発の推進に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、837,330千円（前年同期比32.5%増）となりました。売上高のほとんどがリカーリングの性質によるものであり、ストック型売上として比較的安定して推移するものですが、厳しい市場環境のなかで想定した水準は達成できませんでした。営業利益は272,223千円（前年同期比4.1%増）となりました。当期首にInspiration株式会社（以下「Insp社」）を子会社化したことに伴いM&A費用が高み、またInsp社の企業結合会計につき償却期間の短い識別可能資産等への取得原価の配分があったため当該償却負担も大きく、販売費及び一般管理費が増大することとなりました。経常利益は299,353千円（前年同期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は179,427千円（前年同期比18.1%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 千村岳彦

連結財務諸表（要旨）

Financial Statements

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2022年3月	2022年9月	増 減
流動資産	2,166	1,651	△515
固定資産	1,433	2,055	621
流動負債	189	224	35
固定負債	360	517	157
純資産	3,051	2,964	△87
総資産	3,600	3,707	106

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2021年9月	構成比	2022年9月	構成比
売上高	632	100.0%	837	100.0%
売上総利益	544	86.2%	696	83.2%
営業利益	261	41.4%	272	32.5%
経常利益	252	40.0%	299	35.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	34.7%	179	21.4%

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

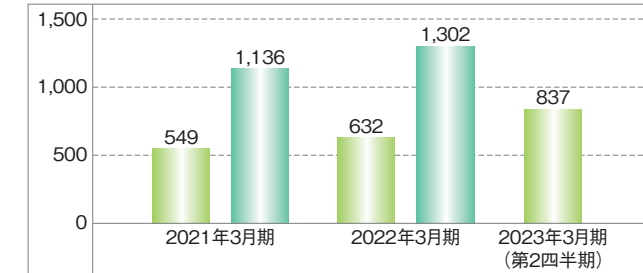
	2021年9月	2022年9月	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,987	1,977	△10
営業活動キャッシュ・フロー	148	277	128
投資活動キャッシュ・フロー	△231	△651	△420
財務活動キャッシュ・フロー	△109	△176	△67
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,798	1,426	△372

財務ハイライト（連結）

Financial Highlights

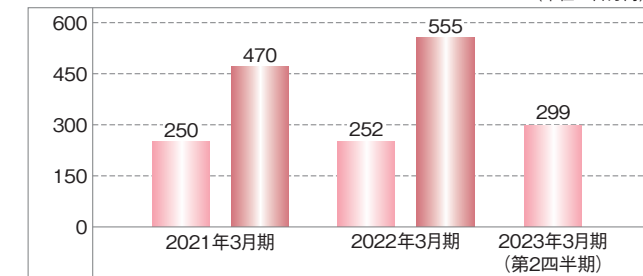
売上高

（単位：百万円）



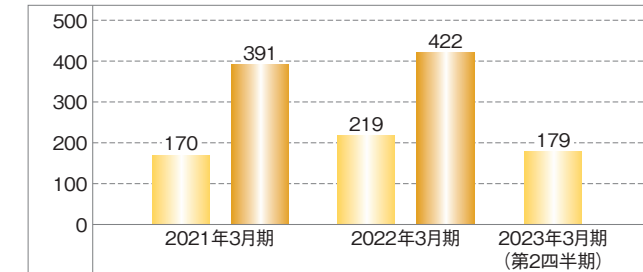
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



総資産／純資産

（単位：百万円）

